

自覚症状のない貧血

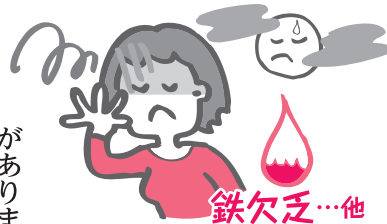
Q 自覚症状がないのに健康診断で貧血と言われました。原因としてはどのようなものがあるのでしょうか。

A 貧血は、酸素を肺から全身の臓器に運搬する赤血球が減少した状態です。貧血には多数の原因がありますが、多くはゆっくりと進行するため、自覚症状が全くなくとも驚くほど高度になっている場合がよくあります。貧血の頻度は男女で大きな差があり、男性が人口の7%に比して女性は18%と高く、特に月経のあ

る女性に高頻度で認められます。これは貧血の原因の多くが鉄欠乏性貧血によるためです。鉄欠乏性貧血の原因は、男性では胃潰瘍などの消化管出血によるものが多く、女性では月経のある年代では月経過多や婦人科的疾患による不正

出血、閉経後では消化管出血によるものが多く認められます。従って、貧血を指摘された場合は自覚症状の有無に関係なく、このような異常がないかを確かめる必要があります。また、鉄欠乏以外にもがん、慢性感染症、ホルモン異常などに伴う二次性

貧血や血液疾患など、別の病気が潜んでいることも多くありますので、貧血と診断された場合は、自覚症状がなくても速やかに医療機関を受診して精査してもらってください。



鉄欠乏…他

高知高須病院
副院長 水口 隆さん